

教員の受賞・研究成果

本学公式 Web サイトに掲載された記事を中心にをご紹介します。＜2019年11月～2020年6月＞

商学部 教授 鯉淵 賢

第62回日経・経済図書文化賞を受賞

商学部教授 鯉淵賢らが共著にてRIETIの研究成果をまとめた「Managing Currency Risk」が第62回(2019年度)日経・経済図書文化賞を受賞しました。【日経・経済図書文化賞】は、経済および経営・会計分野の学問、知識の向上に貢献すると共に、その一般普及・応用に寄与することを目的として昭和33年に設立され、著者および出版社を表彰するものです。

商学部 教授 阿部 雪子

日本不動産学会賞・著作賞(学術部門)を受賞

商学部教授 阿部雪子が、12月7日(土)～8日(日)に椋山女学園大学で開催された「2019年度・日本不動産学会秋季全国大会」において2018年度日本不動産学会賞・著作賞(学術部門)を受賞しました。

【書名タイトル】

「資産の交換・買換えの課税理論」(中央経済社、2017年3月31日刊行)

商学部 教授* 村上 研一

『政経研究』奨励賞を受賞

商学部教授 村上研一が『政経研究』において奨励賞を受賞し、2019年11月13日 公益財団法人政治経済研究所で開催された贈呈式に参加しました。(※受賞当時は准教授)

【論文タイトル】「輸出大国」の行き詰まりと地域循環経済への課題

理工学部 助教 南畑 淳史

JSST2019にて

Outstanding Presentation Awardを受賞

理工学部助教(情報工学科)南畑淳史が、2019年11月5日から7日に宮崎大学にて開催された国際会議 The 38th JSST Annual International Conference on Simulation Technology (JSST2019)において行った研究発表「Verification method for sparse least squares problems」で、Outstanding Presentation Awardを受賞しました。

理工学部 教授 長塚 豪己

「Best Paper Award」を受賞

2019年10月21日～25日に開催された国際学会 ANQ2019にて、理工学研究科経営システム工学専攻 藤田賢治さん(博士前期課程2年)と同教授 長塚豪己が「Best Paper Award」を受賞しました。

【学会名】17th The Asian Network for Quality (ANQ2019)

【論文】タイトル：A New Stochastic Degradation Model Based on the Birnbaum-Saunders Distribution

著者：Kenji Fujita and Hideki Nagatsuka

理工学部 教授 西田 治文

松下幸之助記念賞を受賞

理工学部教授(生命工学科)西田治文が、「松下幸之助花の万博記念賞」松下幸之助記念賞を受賞しました。この賞は「自然と人間との共生」という花の万博の基本理念の実現に貢献する、すぐれた学術研究や実践活動を顕彰するものであり、西田教授の「化石が語る、花のたどってきた道」が、絶滅裸子植物の精子の発見や、現生の植物の系統解析で生じるミッシングリンクを化石の研究によって解決するなどロマンのある研究を展開している、と評価され受賞に至りました。

理工学部 教授 田口 善弘

国際的図書ランキング BookAuthority の Feature Extraction 部門でトップに

理工学部教授(物理工学科)田口善弘の著書

『Unsupervised Feature Extraction Applied to Bioinformatics』が、BookAuthorityという国際的な図書ランキングの Feature Extraction 部門で2019年のトップに選ばれています。

さらに、オールタイムベストでも16位に選ばれました(2019年11月)。BookAuthorityはCNNなどでも紹介された読むべき本の推薦サイトです。Feature Extractionは大規模データから少ない変数を作り出す技術で、近年では機械学習の分野などで注目を集めています。

理工学部 教授 渡邊 則生

日本知能情報ファジィ学会著述賞を受賞

理工学部教授(経営システム工学科)渡邊則生が日本知能情報ファジィ学会の「2019年度日本知能情報ファジィ学会著述賞」を受賞しました。本賞は、同学会の関連する学問・技術において、その発展に貢献するところが大きいと認められる著作物に贈呈されるもので、審査を経て決定されたものです。

【書籍題目】ファジィ時系列解析(統計学 ONE POINT), 共立出版, 2018年7月10日発売, A5判, 101ページ

【受賞理由】本書はファジィ理論と時系列解析に関する入門書であり、ファジィ理論に関して基礎理論からファジィトレンドモデルといった応用まで網羅されていることから、関連分野の発展に貢献するところが大きいと認められました。

理工学部 准教授 橋高 俊一郎

文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞

理工学部准教授(物理工学科)橋高俊一郎が「角度分解磁場中物性測定装置の開発と超伝導対称性の研究」に関する業績により、令和2年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞しました。

【業績の概要】近年、従来のBCS理論では説明できないエキゾチックな超伝導体が数多く発見され、新奇な超伝導メカニズムの解明が重要課題となっています。そのためには超伝導ギャップ対称性の特定が鍵となりますが、その多くは転移温度が1K以下と低いこともあって、未解明のままです。橋高俊一郎先生は、0.1K以下まで磁場方位を精密制御しながら比熱や磁化を測定できる独自の装置を開発し、非従来型超伝導体のギャップ対称性を特定できるバルクの実験手法を確立しました。さらに、それらを様々な超伝導体の研究に応用して実験データを数多く提供し、特にCeCu₂Si₂とSr₂RuO₄という二つの超伝導体においては長年の定説に一石を投じる独創的な成果をあげました。本研究成果は、超伝導研究を大きく進展させるだけでなく、回転磁場下の熱測定法の高度化によって強相関電子系分野の発展にも多大な貢献をもたらすものと期待されます。

国際情報学部 教授 石井 夏生利

Nextcom 論文賞を受賞

国際情報学部教授 石井夏生利が執筆した論文「EU データ保護関連法の『同意』概念」が第9回 Nextcom 論文賞を受賞しました。Nextcom 論文賞とは、株式会社 KDDI 総合研究所が発刊する雑誌 Nextcom において、その年に本雑誌に掲載された45歳以下の著者による論文の中から最も優秀であると認められる論文執筆者に贈られるものです。

石井は本論文において、EU のデータ保護関連法及び日本の個人情報保護法を取り上げつつ、私たちがインターネット上のサービスを利用する際にしばしば求められる個人データの取り扱いに関する「同意」について、その定義やそれが有効となるための条件等を検討しています。その上で、各国・地域における「同意」の概念の違いに着目することが重要であると結論付けています。

研究開発機構 機構教授 石川 幹子

「都江堰市最優秀人材栄誉賞」を受賞

2020年1月14日、中国四川省 都江堰市(とこうえんし)の歴史的農村文化の保全と農村再生に対する、長年にわたる中央大学の支援活動が評価され、研究開発機構 機構教授 石川幹子に「都江堰市最優秀人材栄誉賞」が授与されました。

これは、2008年5月12日に発生した四川汶川(ぶんせん)大地震の復興以来、10年間継続的に支援し、農村の「林盤(りんぱん)」に関する学術研究と農村再生計画の実施が評価されたものです。

中国の国家政策のモデル地区として選定され、2019年12月の安倍内閣総理大臣が成都市・都江堰市を訪問されたことに伴い、日中友好と、世界遺産都市・都江堰市の発展に大きな寄与をしたということで、この賞を贈ることが決定されました。

研究開発機構 フェロー 檜山 為次郎

デラウェア大学「Heck Lectureship」を受賞

本学研究開発機構フェロー 檜山 為次郎が米国デラウェア大学の「Heck Lectureship」を受賞し、10月14日にデラウェア大学にて講演を行いました。Richard F. Heck 博士はデラウェア大学名誉教授で2010年のノーベル化学賞受賞者(の一人)であり、彼の有機化学への貢献を記念して2004年からデラウェア大学が有機化学分野の研究者に授与(講演依頼)実施しているのが Heck Lectureship です。受賞者はいずれも世界的に著名な化学者で、ロバート・グラブス カリフォルニア工科大学教授および根岸英一パデュエ大学特別教授がノーベル賞を取っており、権威のある賞と言えます。